

KITAKYUSHU MISSION START!

一般技術員 農学(農業)

産業経済局 農林課

森井 章太郎 (平成25年度入職)

入職後の経歴		
平成25年度	入職	産業経済局 総合農事センター
平成29年度	異動	広報室 広報課
平成30年度	異動	企画調整局 地方創生推進室
平成31年度	異動	産業経済局 農林課



Q 北九州市役所を志望したきっかけを教えてください。

A 大学では農学部で植物工場を研究する学科に所属していました。同郷の友人から北九州市役所で農学(農業)の職種を募集していると教えてもらい、地元で自分の専門性をいかせる仕事をしたいという思いがあったため、思い切って受験しました。

Q 現在担当している業務の内容を教えてください。

A 野菜・花・果樹の生産振興に関すること全般を担当しています。農作業の省力・効率化につながる農業用機械や安定的な生産を可能にする農業用ハウスの導入を支援する補助事業、スマート農業化に取り組む国庫実証事業の実施に係る事業の周知、JAや福岡県などの関係者との連絡調整、現地確認などを行っています。

Q 現在の担当業務以外で印象に残っている業務を教えてください。

A 入職当初の、総合農事センターでの栽培に関する経験です。入職から4年間、農業の担い手の育成や試験研究、農業を市民に紹介する施設「総合農事センター」に配属されました。そこで野菜の担当として未経験の野菜栽培を経験し、市の野菜栽培の現状や栽培上の課題、農業経営の感覚を学びました。

Q 業務に取り組む中で、どのような点に仕事のやりがいや面白さを感じますか。

A 農家の役に立てる点です。総合農事センターで、栽培試験として小松菜の周年栽培実証試験を行い農家へ発表を行いました。葉物野菜の小松菜は1年中栽培ができるのですが、暑い夏と寒い冬などで、播種から収穫までの期間が違うため、その目安となる指標づくりと当栽培方法で生産した小松菜の経営試算を行うというものです。その指標は実際に現場でも活用され、異動で担当を離れた後、数年を経た今でも集出荷施設に掲示されているのを見た時は、うれしくなりました。

農家の頼れる味方となり、これからの農業を支えます。

Q 北九州市職員として働いていて、自分自身が成長したと感じる点を教えてください。

A 買い物をした時に野菜の価格が気になるようになりました。また、ニュースなどを通じて全国的な農家の状況などを把握するようになり、農業者と業務を行う際の調整がスムーズになりました。

Q 北九州市役所で働くことに興味を持つ皆様へ向けて、メッセージをお願いします!

A やらうと思えばできることがたくさんある環境です。北九州市は政令指定都市なので、仕事の規模が大きくやりがいを強く感じることができます。北九州市で時代の変化に対応した農業の環境づくりを一緒にやっていきましょう。

MISSION

Q 北九州市役所であなたがクリアしたいミッション(夢)を教えてください。

A これからは、多様な人材が多様な営農形態で農業に参入する時代だと思います。その基盤づくりを行い、農家の頼れる味方でありたいです。農業職として採用されましたが、様々な部署を経験し、様々な課題を見つけ解決していくことで、どの職場に行っても通用するようになりたいとも思っています。

